

第50回アジア開発銀行年次総会の国内開催候補地に 選定されました！

本日(10月2日)、財務省より2017年に開催される「第50回アジア開発銀行年次総会(ADB)の国内開催候補地を横浜市とする」ことが発表されました。

《林 文子 横浜市長 コメント》

このたび、第50回ADB年次総会の日本国内開催候補地に選定され、大変光栄に思っています。「日本APEC首脳会議」や「アフリカ開発会議」などの大規模国際会議の開催支援実績に加え、施設の利便性、そして国際都市ならではの“おもてなし”の心で参加者をお迎えしてきた横浜市の実績が評価されたのだと思います。

ADBと横浜市は平成25年10月に覚書を締結し、新興国の課題解決に連携して取り組んでいます。この協力関係を活かし、また国の「グローバルMICE戦略都市」として、横浜での年次総会が実り多いものとなるよう、市を挙げて準備を進め開催を支援してまいります。

1 誘致の経緯について

平成26年7月7日	財務省が国内開催候補地の募集開始
8月21日	財務省へ応募書類提出
10月2日	財務省が国内開催候補地を横浜に決定
平成27年5月(予定)	第48回年次総会(アゼルバイジャン・バクー)にて開催地決定(予定)

2 アジア開発銀行(ADB: Asian Development Bank)について

アジア・太平洋における経済成長及び経済協力を助長し、開発途上加盟国の経済発展に貢献することを目的とした国際開発金融機関。67か国・地域が加盟しています。

- ・本部：フィリピン・マニラ
- ・現総裁：中尾武彦(前財務省財務官)

3 アジア開発銀行年次総会について

年次総会では、各国代表(主に財務大臣)による借款や開発協力などの表明が行われます。

年次総会の関連行事として各種公式セミナーや、財務大臣主催レセプション、ビジネスセッションが開催されるほか、開催地政府主催による投資誘致PR、各種シンポジウムなどが開催されます。

参加者は各国財務大臣、中央銀行総裁、民間金融機関関係者、地元関係者、NGO、報道機関関係者などで、来場者数は3,000~5,000人(見込み)。

過去に日本開催されたのは、1966年(創立総会)東京、1987年(第20回)大阪、1997年(第30回)福岡、2007年(第40回)京都

4 財務省報道発表資料

別添のとおり

お問合せ先

文化観光局 コンベンション振興課 誘致等担当課長 谷口 雅昭 Tel 045-671-4212